

のみだより

自分が市長になったら…
こんなことしてみたい!

市議会 × 寺井高校3年生



CONTENTS

定例会報告…………… P 2
委員会審査報告…………… P 3
予算決算常任委員会審査報告 …… P 4

討論・賛否一覧…………… P 5
一般質問…………… P 6
寺井高校生との意見交換会 …… P14

正副議長交代・議会日誌…………… P16
議会日程・編集後記…………… P16



平成29年12月定例会

今定例会は、11月28日（火）から12月15日（金）までの18日間の会期で開かれました。市長から提出された議案11件、報告1件、諮問1件をすべて可決・承認・同意しました。
主な議案の内容は以下のとおりです。

●平成29年度能美市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に3億4,400万円を追加補正

平成29年度能美市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億4,400万円を追加し、予算の総額が230億8,100万円となりました。

一般会計補正予算の主な内容については次のとおりです。

ふれあいリサイクルセンターの移転を計画

●ふれあいリサイクルセンター建設費（8,910万円）

資源の再利用化の推進と循環型社会の構築を図るため、寺井地区にある「ふれあいリサイクルセンター」が現在の場所から移転する計画が進められています。

辰口中央児童館の建設が進められています

●辰口中央児童館建設事業（3,800万円）

平成31年5月の開館に向けて辰口中央児童館建設にかかる敷地造成工事が行われます。



▲辰口中央児童館完成イメージ図

市役所の窓口サービス機能が充実

●総合案内改修事業（430万円）

総合窓口の利便性を高めるため、本庁舎の入り口付近にある案内表示を見直し、サインパネルを設置。また、総合案内カウンターの設置や会議等の案内用表示モニターが設置されます。

このほか、よりスムーズなサービスの提供ができるよう市民課に発券機を整備し、窓口の混雑の解消が図られます。

「ひぼ能ん」「ゆず美ん」を能美市の公式キャラクターに

●シティプロモーション事業（403万6,000円）

寺井高校美術部が考案し、のみバスキャラクターとして誕生した「ひぼ能ん」「ゆず美ん」を能美市公式キャラクターとして商標登録するほか、イベント等で能美市の魅力を発信するシンボルとして着ぐるみを製作します。



ふるさと寄附金の見込みを3,500万円に上方修正

●ふるさと応援基金積立金（1,500万円）

●ふるさと寄附金推進事業（430万円）

ふるさと納税の年間寄附金を当初は2,000万円と見込んでいましたが、3,500万円に上方修正。これに伴い、基金積立金の増額や返礼品等の経費を追加します。

能美根上スマートインターチェンジの完成を記念して「夢フェスタ」を開催

●能美根上インターチェンジ整備事業（250万円）

「能美根上スマートインターチェンジ」が平成30年3月に供用開始となります。

これを機会に、能美市の将来を担う子ども達が未来に夢を持って成長できるよう「夢フェスタ」が開催されます。



市職員の勤勉手当及び常勤の特別職、議会議員の期末手当の支給月数を引き上げ

平成29年8月8日の人事院勧告に基づき、能美市一般職の職員の給与等を改定。

主な改定点は、民間の支給割合との均衡を図るため、一般職員の勤勉手当の支給月数を年間0.1ヵ月分、議会議員及び常勤の特別職の期末手当の支給月数を年間0.05ヵ月分引き上げするほか、医療職の職員の扶養手当を国の基準に合わせる改定等が行われます。

- 能美市温泉交流館の指定管理者の指定
- 能美市体育施設の指定管理者の指定

里山の湯や物見山総合体育館などの指定管理者を能美市ふるさと振興公社に指定

能美市温泉交流館「里山の湯」及び能美市物見山総合体育館をはじめとする辰口地区15施設の指定管理者がこれまでに引き続き、公益財団法人能美市ふるさと振興公社に指定されました。

なお、指定期間は平成30年4月1日から3年間となります。

能美市温泉交流館の指定管理者の指定

産業
経済

- ◎平成25年度から赤字が続いている。対策を講じる予定があるのか

Ⓐ経年による修繕等が赤字の主な原因。光熱費等についてはできる限り圧縮している。

- ◎以前に年末年始など利用の多い時期に湯量が足りなくなることがあると聞いたが解消されているのか

Ⓐ湯量の不足はシャワー等洗い場の湯であり、ポイラーを増強して対応できている。

能美市体育施設条例の一部を改正する条例

教育
福祉

新博物館建設に伴い、建設予定地内にある和田山テニス場を廃止。その代替えとして整備する粟生運動公園テニス場の夜間照明施設を追加する

- ◎粟生運動公園テニス場のコートは何面か

Ⓐ和田山テニスコートと同じく2面である。

- ◎和田山テニスコートの利用状況はどうだったか。解体予定はいつ頃か

Ⓐ能美ジュニアなどソフトテニスの利用者が多い。解体費用は、来年度当初予算で計上する予定。

委員会審査報告

市長から提出された議案等は、4つの常任委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです（予算決算の審査内容はP4に掲載）。

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	田中大佐久	仙台 謙三	杉田 隆一、山下 毅、南山 修一
産業経済	森 善克	田中策次郎	東 正幸、米田 敏勝、佐伯富美子、卯野 修三
教育福祉	山本 悟	北村 周士	近藤 啓子、居村 清二、嵐 昭夫、開道 昌信
予算決算	南山 修一	田中策次郎	議長を除く全議員

能美市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

総務

- ◎一般職のボーナスは、県外の民間企業と比較してどうなのか

Ⓐそのような比較はできない。人事院勧告は、人事院が全国の民間企業の給与等の状況調査を踏まえ、その平均値から支給月数を算定するものである。

- ◎医療職の扶養手当が段階的に減額されているがその背景は何か

Ⓐ女性の社会進出を促すことが背景にある。



「使い道」を厳しく審査

今定例会では、市長から提出された平成29年度補正予算に関する議案（6件）について審査が行われました。議長を除いた全議員で構成する予算決算常任委員会全体会で慎重な審査を行ったほか、委員会を3つの分科会に分け、分科会ごとにも集中的に審査を行いました。最終日の本会議で予算決算常任委員長から審査内容の報告があり、採決の結果、すべての議案が可決されました。

なお、主な審査内容は次のとおりです。

◆平成29年度一般会計補正予算

ふるさと応援基金積立金・ふるさと寄附金推進事業

ふるさと納税の実質収支はどれくらいか

寄付金額は、現時点で1,645万円。そのうち、約39%が返礼品等の経費である。

辰口中央児童館建設事業

造成工事に伴う地質調査等を実施しているのか

現時点では実施していないが、土地購入の手続き完了後に実施する。

今後の建設スケジュールは、総事業費はいくらか

平成30年6月から平成31年3月を工期として建築工事を進める。全体の事業費は、約10億円を見込んでいる。

ふれあいリサイクルセンター建設費

用地を購入する場所はどこか。建物の面積や駐車台数はどれくらいか

能美市防災センターに隣接する土地を購入する。建物の面積

は、現在のリサイクルセンターと同等以上を予定し、駐車台数は、現在と同程度の台数を確保したい。

リサイクルセンターの移転先の選定理由は

現在設置されている場所からあまり離れておらず市民にわかりやすい。防災センターや新設が予定されている博物館等が集約された場所であり、それぞれの施設が連携することで更なる相乗効果が期待できる。

能美根上インターチェンジ整備事業

イベントの告知や集客方法は、どうするのか

市広報誌への折り込みや市ホームページへの掲載、ケーブルテレビを活用して告知する。

NEXCO中日本からの費用負担はあるのか

起工式の際も費用負担がなかったため、今回のイベントに対してもないものと考えている。

社会保障・税番号制度システム整備事業

個人住民税や国民健康保険等のシステムを改修するほか、住民票及びマイナンバーカードに旧姓が併記できるように住民基本台帳システムを改修するもの

マイナンバーカードの普及率の現状はどうか

平成29年12月1日現在でマイナンバーカードの申請件数は4,803件、申請率は9.6%である。

共生型福祉施設整備費補助金

社会福祉法人「陽翠水」に対して共生型福祉施設の建設費の一部を補助するもの

この補助金は今回限りか

今回モデル事業第1号として1回限りの補助である。今後、同様施設の新設があっても補助は予定していない。



討論

—こんな理由で賛成・反対しました—

12月15日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

●平成29年度能美市一般会計補正予算

社会保障・税番号制度システム整備事業は、個人住民税や児童福祉等のシステム改修費が計上されている。国は、これまでに基幹システムの構築やカード発行経費に3,400億円を投じ、今後もシステム改修が必要となる。情報漏れの心配、プライバシー権の侵害の危険、際限なく拡大される利用範囲の拡大等も指摘されている。

共生型福祉施設整備費補助金は、能美市のモデル事業として、共生型福祉施設の建設費の一部を社会福祉法人「陽翠水」に補助するもの。本来モデルとして行うなら、能美市に必要な事業は何であるか選定し、そのためにどのような施設をつくるのか、その条件を出しながら公募し決定するのが本来のやり方ではないか。民間の進める写真に能美市が後付けで支援を行うような、白紙委任の進め方は納得できない。

これらの理由により、この補正予算には賛成できない。

反対

近藤 啓子
議員
(日本共産党)

賛成

北村 周士
議員

今回の補正予算は、市長公約の一つでもある能美市の魅力をより深く知っていただくためのシティプロモーション事業として、市内外から市役所庁舎を訪れる方々を対象に市役所市民ホールで実施している文化作品や九谷焼などの特産品の企画展示を拡充させるための費用等が示されている。能美市の魅力度を高める、或いは注目を集める施策のひとつとして大いに意義のあるものと期待される。

また、能美市で初めてとなる共生型福祉施設「G-Hills」は、自助・互助・共助、そして公助の精神にのっとった新しい施設であると位置付けられ、能美市において共生社会を目指す先駆的な取り組みである。補助金額の根拠は、東日本大震災後の共生型福祉施設整備費に関する国庫補助金の例にならい金額を定めたもので、国の基準に照らして、決して遜色のないきめ細やかな対応であると評価できる。

市民生活に欠くことの出来ない費用や、能美市の将来に繋がる費用がバランスよく計上されており、適正と認め賛同する。

●国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

消費税は、所得の少ない人ほど負担が重く、貧困と格差を拡大する根本的な欠陥を持つ税制。消費税10%への引き上げはきっぱり中止し、日本国憲法が要請する応能負担原則に則った税制を確立すべきである。

消費税増税ではなく、税金の集め方、使い方を見直し、大企業や富裕層を優遇する不公平税制をただすべきである。軍事費や不要不急の大型公共工事への歳出を減らし、暮らしや社会保障、地域経済振興優先に税金を使い、内需主導で家計をあたためる経済政策をとれば、社会保障制度の拡充も、財政再建の道も開かれる。

住民の暮らし、地域経済、地方自治体にも深刻な打撃を与える消費税増税の中止を国に求める請願に賛成する。

賛成

佐伯 富美子
議員
(日本共産党)

賛否が分かれた議案

○=賛成、●=反対、議長は採決に加わりません。

議案名	山下毅	卯野修三	佐伯富美子	北村周士	仙台謙三	山本悟	田中大佐久	森善克	田中策次郎	開道昌信	嵐昭夫	南山修一	居村清二	倉元正順	米田敏勝	東正幸	近藤啓子	杉田隆一
能美市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度能美市一般会計補正予算(第5号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。



田中 策次郎 議員 新 風

財源の安定確保

Q 第2次能美市総合計画実現のため、財源確保の構想を問う

A 自主財源の確保、中でも市税収入の安定した確保が重要。

「企業誘致の推進」「中小企業・小規模事業者の活力推進」「人や企業から選ばれるまちの魅力発信」が財源確保につながる。健全で安定した財政運営に努めていく。

あんしん相談センター

Q 寺井あんしん相談センターと高齢者支援センターとの異なる点は何か

A 高齢の方だけでなく障がいのある方、生活困窮の方などのワンストップの相談窓口となった。

問題が多様化、複雑化しているため、司法、教育、就労、家計支援の関係者が加わり、事例検討会や地域ケア会議の機能強化がされた。ケアマネージャーの他、障がいの相談支援専門員や生活困窮者自立支援員との連携も行っている。

市民モニター制度

Q 市政への市民参加を推進し、幅広く市民の声を拾い上げ、市政に反映させるため市民モニター制度の導入をせよ

A 市民モニター制度が有効な手だてとなれば今後の導入も検討していきたいが、市民と顔を合わせ、心を通わせながら対話し「暮らしやすさを日本一実感できるまち」の実現に向け施策を展開する。

新公共交通体系構築

Q 町会、市民団体、議会、行政が話し合い、企画、提案できるような新公共交通体系の構築プロジェクトチームを編成せよ

A 次年度は、コミュニティバスだけにとらわれない新しい公共交通のあり方について検討する仮称「新交通システム検討委員会」の設置を考えている。市民の声を大切にし、地域公共交通を直していきたい。



▲寺井あんしん相談センターパンフレット

一般質問



田中 大佐久 議員 新 風

高齢者福祉の拡充

Q 在宅寝たきり老人等介護慰労金支給事業の拡充を図れ

A この事業は、在宅での介護を家族が抱え込んでいた時代に在宅介護者を支援するためにつくられた制度である。現在は、訪問介護や通所介護を支えるサービスが整備されている状況。その様なことから現行通り、低所得者への在宅支援として実施したいと考えている。

Q 能美市長寿祝い品支給を見直す考えはあるのか

A 市では、多年にわたり地域社会の発展に対する功績を称え88歳及び100歳の方に対して祝い品を贈呈している。これからは、これまでの貴重な経験や知識を地元に戻し、地域づくりの担い手のひとりとして協力頂きたいと考えている。そのため、新年度に向けて100歳を迎える方及び101歳以上となる方々に対してお祝い品の拡充を検討している。

攻めの農業

Q 輸出来に対する石川県及び能美市の現状を示せ

A アジアでの和食ブームを背景として、日本産米の需要が年々高まっている状況の下、輸出先での販売動向等を踏まえて取り組んでいる。今後、輸出来を増やす為には、生産コストのさらなる削減や市場拡大が課題と考えている。

Q 「攻めの農業」輸出来の作付拡大の奨励を図れ

A 国内の米市場が縮小する中、海外に目を向けていくことが時代の流れであると考えている。しかし、生産コストなどの課題もあることから輸出来の作付拡大をすることについては現時点では慎重に対応したいと考えている。



▲輸出来の拡大で安定した農業経営を



卯野 修三 議員
勇 気

自転車保険義務化

Q 市民の安全・安心を守るとい
う観点から、自転車保険の義
務化をすべきではないか

A 交通安全対策として、学校・
保護者・地域・各種団体・警
察・行政が連携して交通マナー指
導やヘルメット着用、学校での保
険加入を促進させている。今後は、
市ホームページ等で損害賠償保険
等の周知を図っていきたい。
自転車保険義務化については、
今後、検討していきたい。

公共交通

Q タウンミーティングでの「の
みバス」に対する意見を新し
い公共交通整備にどう活かすの
か
A タウンミーティングでは、公
共交通に関する意見が60件
あった。

今後は、「新交通システム検討
委員会」を立ち上げ、行政だけで
なく、町会・町内会・各種団体に
参加いただき、広く検討していく。

住みよさランキング

Q 暮らしやすさを含めた能美市
の現状や施策をもっと住民に
周知すべきでないか

A ランキングが上位であること
だけを伝えるのではなく、そ
れに至った背景や能美市の施策・
方針・魅力を丁寧に伝えていき、
移住定住の促進・交流人口の拡大
につなげたい。

産業振興会議

Q 会議の目的・内容は。また、
小規模事業者への補助金制度
の見直しを図るべきではないか

A 会議は、中小企業・小規模事
業者の振興に係る基本的施策
の審議を行うために設置した。産
学官金が連携し、産業全体が進む
べき方向性を共有し、意見交換や
取り組み等の検証を行っている。
補助金制度は、今後の産業振興
会議で議論し、検討していく。



▲市内小学校で行われている
交通安全教室

一般質問



山下 毅 議員

新公共交通システムの導入

Q 高齢者運転免許証の返納率を
高めるためにも、現状の制度
見直しを考えているか。また、返
納の促進をどう図っていくのか

A 県内他市町の支援内容と比較
しても遜色ないものと考えて
おり、見直しを行わず、制度内容
の周知、PRに努めていく。
返納の促進については、警察や
交通安全団体などと連携し、チ
ラシによる周知や会合等を通じて啓
発活動を積極的に行っていく。

Q デマンド交通システムの導入
により、外出頻度を高め、元
気な高齢者のまちづくりが確立さ
れるのではないか。今後の導入を
検討せよ

A 公共交通に関しては、タウン
ミーティング等で多くの意見
をいただき、改善の必要性を感じ
ている。これまでにデマンド型交
通に関する資料収集や先進地視察
を行うなど、デマンド型交通につ
いて学習を行っているが、その一

消防力及び消防体制

方で、全国的にはデマンド型交通
を導入した市町村の約7割が見直
しを考えている状況である。
次年度から（仮称）新交通シ
ステム検討委員会を設け、デマンド
型交通の導入も含め市の公共交通
のあり方を検討していく。

Q 消防職員の人員不足が懸念さ
れている。また、消防団員の
不足も懸念される中、安心安全の
まちづくりのためにも、消防職員
の増員をどう考えているのか

A 消防職員は、106名の条例定数
に対し、現在82名。火災等が
発生した場合は、非番や公休職員
を招集し、不足人員を補っている。
この現状を踏まえ、消防職員中
長期採用計画に基づき、職員の増
員を行っていく。定数が充足する
までは、消防団や自営消防団の消
防力を結集し、大規模災害にも対
応できる体制
づくり
に取り組
む。



▲住宅密集地の大規模火災を想定
した訓練が行われました



米田 敏勝 議員
保守清流

小松基地との共栄共存

Q 小松基地周辺地域に対する交付金として再編関連訓練移転交付金が支給されている。基地周辺地域の住民が「うるおい」を実感できるまちづくりを進めるべき

A 山口町の翠ヶ丘運動公園にフットサル場やキャンプ場をはじめ芝生広場やグラウンドゴルフ場を整備している。その維持管理として管理棟の改修工事やレストハウスオアシスの改修工事を実施。スポーツ、レジャーを通して子供からお年寄りまでが楽しく触れ合える魅力ある運動公園施設として整備をしている。

また、白砂青松の美しい根上海岸と松林を守る取り組みも、市民団体等と協働し、今後もしっかりと実施をしていく。

Q 平成30年度予算では、この交付金を基地周辺地域のまちづくりにどう反映させるのか

A 交付金の趣旨や目的に沿い、基地周辺住民の生活の安定に

寄与する事業をはじめ、公共施設の改修事業や子育て支援事業などに活用する。

基地周辺住民の安全対策や騒音等に対する要望を踏まえ、安心して暮らせる環境整備の促進を図っていききたい。

歩道脇側溝の点検

Q 歩道脇排水路への転落を防止する安全柵がない危険な歩道がある。危険箇所の点検を行い、危険箇所に防護柵を設置せよ

A 児童生徒の登下校中の事故を防ぐため、寺井警察署やPTAの代表者などで構成する「能美市通学路安全推進会議」を設置し、危険箇所の有無を点検している。対策が必要な箇所が確認されたときは関係者間の情報共有を図りながら、転落防止柵の補修や対策工事等を実施している。

引き続き事故の発生を未然に防ぐため、施設の整備に努めていく。



▲再編関連訓練移転交付金を活用して改修されたレストハウスオアシス

一般質問



嵐 昭夫 議員
市民

保育園の整備

Q 国造保育園が建設されて38年が経過。山側の法面は「土砂災害警戒区域」となっているが安全対策は確保されているのか

A 国造保育園の一部が土砂災害警戒区域に指定されているが、建築物移転の勧告もなく、一般的な住宅などの建築も規制なく認められている区域である。また、裏山の地質等を考慮しても危険性は極めて低いと考えている。

Q 緑が丘保育園が建設されて41年が経過。民家が立ち並ぶ中、送迎時の安全性は確保されているのか

A 10月に緑が丘保育園の周辺に標識を5枚設置し、保育園の送迎時間帯に合わせて一方通行をお願いした。さらに、保育園横の緑が丘2号公園の駐車場整備も今年度中に予定している。現在は5台分の駐車スペースであるが、整備後は12台分となり送迎時の安全性の確保に努めている。

Q 長野保育園の完成で能美市保育園統廃合計画は完了した。対象外となった8保育園も老朽化が進んでいるように見受けられる。今後の整備計画を問う

A 8園に対しても、順次、改修整備を進めている。中長期事業計画に基づき平成30年度に実施計画を策定し、平成31年度から順次、大規模改修する方向で検討している。

フォトロゲイニング大会

Q 近年、新しい街歩きイベントとして全国各地に広がっているフォトロゲイニング大会を能美市でも実施できないか

A 現在、市民に運動習慣を持つてもらえるようウォークアドバイザー講習会を行っている。フォトロゲイニングは、ウォークアドバイザーから観光するという新たなスポーツ。先進事例などを参考にしながら可能性を探っていく。



▲ウォークアドバイザー講習会



居村 清二 議員

北鉄バスのルート変更

Q 北鉄バスのルートが一部変更され、三ツ口町は、加賀産業道路上に新バス停の設置を要望している。北鉄バスの対応はどうか

A 三ツ口町が希望するバス停の位置は、交通量も多くスピードが出る場所。交差点に近く赤信号による渋滞も予測され、2次のな事故が生じる危険性がある。

市では北鉄バスに、主要地方道小松鶴来線、岩内町地内の三ツ口町寄りでのバス停設置を求め、現在交渉をしているところである。

Q 宮竹小校下の人口減少問題がある中、今度は、バスが通らなくなった。この現状を市はどう分析し、どんな対策を考えるのか

A 宮竹小校下にお住いの方々、地域の魅力や住みよさを個々に発信することで、移住・定住が促進され、人口増加に繋がる。

地域住民も行政と一緒に、地域の将来を自ら考えていくことが求められている。

除雪体制

Q 今冬は大雪が心配される。除雪対象外の市道について、貸し出し機械の体制や各町会からの要望にどう対応していくのか

A 除雪機械の貸し出しは、3地区ごとに各2台を保有している歩道除雪車に対応する。

除雪対象外の市道は、町会・町内会での対応としているが、積雪が60センチを超え、警戒体制に移行した場合には、除排雪作業の強化や臨時雪捨て場の確保等を実施する。市民生活への影響を最小限とするため、状況によっては別途支援の検討も必要と考えている。

Q 安全な通学路を確保できる除雪体制は整っているのか

A 通学路の除雪を行う業者には通学時までに除雪作業が完了するよう事前協議をしている。

歩道の除雪は歩道除雪車を貸し出し、PTAや地域での協力をお願いしたい。



▲除雪作業は、幹線道路の交通をスムーズにすることを最優先に行われています

一般質問



近藤 啓子 議員
日本共産党

憲法9条

Q 憲法9条に自衛隊の存在を書き込めば、9条2項（戦力の不保持）が空文化するのではないか。改憲すべきではないと思うがどうか

A 恒久平和主義を掲げた日本国憲法の前文及び第9条は、日本が世界に誇るべき崇高な理念である。戦後70年以上にわたって日本が世界に誇るべき平和国家として繁栄してきた。また、世界平和の確立に積極的に貢献してきた歩みの中で、その根幹として大きな役割を果たしてきた。

憲法9条への自衛隊の明記については、国会や国民の間での慎重な議論を重ね、理解を深めることが大切。市政の場で議論を交わすことは差し控えたい。

学校給食

Q 知育・徳育・体育とともに食育の重要性がある。学校給食は学校教育の一環ではないか

A 学校給食は学校における食育の生きた教材であり、その教材として学校給食の充実に取り組んでいる。地元の農家の方から、地場産物の魅力や作り方を学ぶことや、地場産物を利用した学校給食の献立作りを生かし、食育教育に取り組んでいる。

Q 「義務教育は無償」の観点から、学校給食の無償化を図るべきでないか。文部科学省も「設置者の判断で軽減できる」としているがどうか

A 学校給食法に基づき能美市では食料費相当額のみを保護者負担にしている。

義務教育の無償化の対象は授業料と理解している。授業で使用される教材費は実費負担としている。



▲学校給食の無償化を



山本 悟 議員

認知症高齢者の徘徊

Q 神奈川県大和市では認知症高齢者を被保険者として、保険料を公費で負担する制度を導入した。能美市における認知症高齢者の徘徊への対応を問う

A 能美市では平成28年度から認知症高齢者見守りSOSネットワーク事業を実施している。認知症高齢者の顔写真やプロフィールを事前登録して頂き、行方不明時には協力者や協力機関に対してメールにて情報を提供し、早期の捜索活動に役立てている。11月末現在22人の登録者があり、協力員は83人、協力機関は42事業所である。

また、徘徊高齢者等家族介護支援サービス事業を実施している。これは徘徊時に現在地を確認するため小型の位置検索機器を持つて頂くものであり、位置検索機器の基本料金は月額50円で、11月末現在で8人が利用されている。



▲見守りSOSネットワークへの登録が行方不明者等の早期発見につながります

ふるさと納税

Q 総務省はふるさと納税による寄附金を、起業支援や移住促進に使う自治体へ特別交付税を配り、財政面で優遇すると発表した。能美市の対応を問う

A 国からの特別交付税を受ける場合は、地域や関係者を巻き込んだ、事前の起業・移住に対する受け皿づくりや、準備段階の対応などが大変重要となってくる。まずは関係部署が相互に連携し、起業と移住・定住施策の内容の充実を図りながら本制度を研究し、国の財源支援に見合う効果があると判断できれば、この制度の活用を積極的に考えていきたい。

一般質問



北村 周士 議員

病児保育

Q 利用実績と受け入れを断った件数はどの程度あるのか

A 平成28年度は延べ698名の利用があり、受け入れできなかった件数は106件あった。今年度はこれまで405名が利用し、77件(対前年比26.2%増)お断りしている。

Q 定員数の見直しや部屋の拡充を

A 現在、病児保育センターは定員6名で、スタッフは保育士3名、看護師1名で運営している。また、病状の種類等によって定員を超えて受け入れるなどの柔軟な対応も行っているが、スタッフの増員や部屋数の拡充による定員の見直しは難しい。

Q 他地区への病児保育センター新設の見直しは

A 社会福祉法人陽翠水において、来年度から生後2か月児から小学校6年生までを対象とした病児保育開設が予定されている。定

墓地の状況把握

Q 墓地の現状把握はどうなっているか

A 本年5月から墓地台帳の突合、登記簿等の確認をしている。現在の地番に該当しないものも多く存在しており、聞き取りを行いながら実態把握に努めたい。

Q 墓地行政の基本方針を策定せよ

A 町会・町内会の墓地経営について、無縁仏の問題など管理運営を取り巻く環境は難しくなってきている。少子化、核家族化の進展など社会情勢の変化に対応し、適正な管理運営ができるよう、墓地行政を進めていきたい。



▲病児保育センター利用者の受付を行う保育士



開道 昌信 議員

生産労働人口の維持

Q 日本の将来推計人口で「生産労働人口」の減少が予想されている。「生産労働人口」の維持にどのような施策で対応するのか

A 国内経済は回復基調にあるが、一方で労働者不足が顕在化してきている。そのなかで企業誘致の好調を維持する為には、「生産労働人口」を確保する事が重要である。

そこで女性や元気な高齢者、障がいを持たれている方、外国人など、多様な人材確保の為の環境整備やIT技術を活用した企業の業務効率化、U・I・Jターンの推進、学生など未来人材の育成を商工会や大学、石川県など関係機関との連携を強化し、順次必要な策を講じていきたい。

来年度予算に向け、移住・定住と市内の企業への就職を組み合わせた新たな施策の協議検討を始めたところである。

Q 「生産労働人口」確保の為、ものづくり教育を推進せよ

A 今年11月に10回目を重ねる市内産学官が連携した「子どもマイスターウィーク」を実施した。

期間中、科学教室では地元企業や北陸先端大の協力で地元企業の技術を活かした実験が行われ、市内の全小学校の児童が学校単位で参加した。実験を通して市内の児童が働く人と直接触れ合うと共に地元のものづくり技術に触れる機会となった。

今後このような機会を積み重ね、能美市で育った子どもたちが地元で優秀な技術者になることを志すことに繋がっていくように、地元と密着したもののづくり教育に取り組んでいきたい。



▲子どもマイスターウィークで行われた科学教室に参加する子どもたち

一般質問



南山 修一 議員

新年度予算編成

Q 骨太な成長戦略施策は、何か

A 5つの柱を中長期的な視点として新年度予算編成に努める。

①移住・定住の推進や交流人口の拡大、②産業振興及び6次産業化を初めとした農業振興、③教育力の向上と子育て支援を初めとした教育・福祉施策の強化、④災害対策や老朽インフラの更新など安全で安心なまちづくりの構築、⑤生活基盤整備を目的とした広域連携の強化及び省力化・効率化を目的とした行財政改革を図ることである。

施策立案の参考とするため、市民課窓口で転入、転出された方々を対象にアンケート調査を行っている。その結果を活用したい。

市民や企業、大学、議会の方々と行政が互いに連携、協力する協働のまちづくりが必要で、政策分野横断での取り組みを強化する。

学校給食と食物アレルギー

Q *除去食による給食提供の可能性があるを問う

A 現在の給食設備や給食調理員の人員配置では、除去食の提供は難しいが、今後の長期的な計画の中で検討していく。

Q 除去食によるいじめ問題を問う

A いじめは理由のいかんを問わず許されない問題。能美市いじめ防止対策基本方針に基づき職員全体で子どもを見守り、未然防止や早期解決に努めている。

健康ロードの整備

Q 健康ロード整備計画を問う

A 旧北陸鉄道能美線跡地を利用した健康ロードや辰口丘陵公園周辺など魅力的資源を活用してウォーキングの推奨に努めたい。



▲健康づくりの一環として安全で安心して歩ける健康ロードの整備を

*除去食：アレルギーとなる食品を使わないで作る食事



東 正幸 議員

観光誘客

Q 北陸新幹線が開業して3年。能美市にその波及効果があったと実感しているか。実感しているとすれば、どのような点が

A 金沢市内では九谷焼をはじめとした土産品等の売り上げが好調で、市内でも売り上げに好影響のあった業種もある。

このほか、能美根上駅利用者の定期を除く普通乗降者数やいしかわ動物園入場者数が増えている。これらのことから、一定規模の波及効果があったと感じている。

Q 市長は、観光戦略に対してトップセールスを行っているが、そのコンセプトや概念は何が能美市にしかない魅力をソフト面も含めて県内外に発信し、能美市を知ってもらおう、そして能美市を訪れてみたいと思ってもらうことがコンセプトである。

全国的には能美市の知名度や魅力度が低いことは認識しており、それらの指数をいかにして上げる

かを議論する場として「観光戦略会議」を立ち上げている。今後の観光誘客につながる取り組みを構築し、施策に反映していきたい。

Q 公式キャラクターとなる「ひぼ能ん」や「ゆず美ん」と、以前からのキャラクターである「のみまる」や「のみんちゃん」等とのコラボ企画は考えているか

A それぞれのキャラクターは、キャラクター製作の趣旨に基づいて活動が行われている。これらを活用の基本にしながらも、プロモーション活動の範囲を広げていけば、各種イベント会場においてマスコットキャラクターの出会いも十分考えられる。そのときには複数のキャラクターを来場者に楽しんでもらい、PR効果が2倍、3倍となるようなパフォーマンスを展開し、コラボレーションの波及効果を期待したい。



ひぼ能ん



ゆず美ん



▲地域福祉推進マスコットの
のみんちゃん



▲のみまる

一般質問



森 善克 議員

危険空き家等の対応

Q 周辺に悪影響を及ぼしていると思われる空き家も含め、危険空き家の実態はどうか

A 現在特定空き家等は1件であるが、今年度、空き家管理不全に関する相談が12件あり、担当課が現場確認をしている。市は所有者等を調査し、空き家の適正管理を促す通知を送付している。空き家の所有者等が管理不全に陥らないよう、空き家に関する制度紹介の案内も行っている。

Q 危険空き家の現状は改善が進んでいない。市独自の新たな政策や条例制定を検討する時期ではないか

A 空き家の適正管理に関する条例の制定を考えている。主な内容は、緊急時の安全措置対応及び市や市民、所有者等の責務、連携等についての条項の制定である。また、特定空き家等の認定には時間を要するため、認定前でも緊急時の安全措置対応を可能にする

条項も考えている。また、市や市民及び所有者等が果たす役割を明確にし、空き家が危険な状態になることを防ぎ、対策を地域と連携して取り組む。

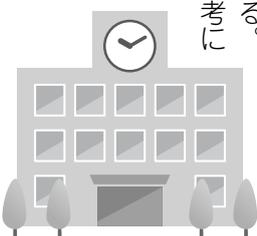
学校施設の長寿命化計画

Q 小中学校校舎の老朽化が課題となっている。建て替えを念頭においた長寿命化計画を現段階から具体化していく必要があるが計画策定の予定はあるか

A 市内小中学校の大半は建設から40年以上経過しており老朽化対策は重要な課題。状況に応じた改修工事に加え、約20年の経過を目安に大規模改造工事を実施し、教育環境の向上に努めている。

学校施設の老朽化対策計画については、文部科学省から長寿命化を目的とした個別施設計画を平成32年度までに策定するよう求められている。

長寿命化を進めるにあたり、その基礎情報となる学校施設の劣化状況を把握するための点検・診断を実施している。その結果を参考に計画策定の準備を進めていく。





議員
仙台 謙三 公明党

やさしい博物館

Q 市内外に定住、また海外から訪日する外国人の方々にも利用しやすい博物館に。外国人も含めて一人で来館してもストレスなく楽しんで頂けるやさしい施設に

A 新たな博物館は、市内在住の外国の方や外国人観光客にもわかりやすく学べる施設にしたい。館内案内には外国語表記や、ピクトグラムを取り入れ、外国語での音声ガイドの導入も検討する。ホームページやパンフレットについても外国語版を作成し、情報発信の準備を進めてゆく。

海外への情報発信

Q 海外からの誘客増加のため、海外の観光雑誌等への記事や広告の掲載、またInstagramなどのSNS媒体での情報発信等の取り組みを行うべき

A 海外の観光雑誌等への記事や広告などの掲載は行っておらず、海外からの旅行者に対する受け入れ体制も十分とは言えない。新たなSNS媒体などでの効果的な情報発信について検討し、海外へのトップセールスも強化していきたい。

海外観光客のための環境改善や、今ある観光資源をどの様に磨き上げていくかは、「観光戦略会議」で議論する。

ウルトラアート

Q ウルトラアートがさらに充実したものとなり「世界に発信循環するアート」となるよう、市の指導力と後押しを期待する。市の見解と今後の計画は

A 市外からの交流人口の拡大を期待していたが、なかなか集客につながらない現状がある。ターゲットの明確な設定や開催内容も含めて、今後の観光イベントのあり方について関係者と協議する。

また「観光戦略会議」でも議論し、観光誘客効果を伴った取り組みをしつかり検討する。



▲ウルトラアート事業の1つ「KageMai」

※ピクトグラム：視覚記号の一つ。非常口やトイレなどに使われている。目につきやすい図記号
 ※Instagram：スマートフォンなどで撮影したデジタル写真に、画像編集を加えて共有するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の一つ

一般質問



議員
佐伯 富美子 日本共産党

水道料の値上げ

Q 水道料の値上げは市民生活に大きな影響を与える。預金等を取り崩し、高い借入利息等を見直し、値上げの凍結を図るべき。企業にも協力を要請すべき

A 起債を借り換えしても費用が安くなるとは限らないので考えていない。預金は水道管更新事業や水道施設の耐震化事業の工事を支払うために必要な金額を貯金しているものである。資金的に余裕のあるものではないので、理解をしてほしい。

長寿祝い金の拡充

Q 何故、祝い金から祝い品に変わったのか。88歳の方に贈られる商品券は、使える地域に偏りがあり、一考すべきだ。長寿祝い金の拡充を図れ

A 長寿祝金支給条例を廃止し、長寿祝品支給要綱を制定したのは長寿社会に対応するため。のみ共通商品券は、地元商店で

の購買をきっかけに高齢者が地域と触れ合う機会が増えることを期待している。商工会では、くらしのガイドブック「マゴノテ」を作成し、会員拡大に努めている。新年度に向けて、100歳を迎える方、101歳以上の方にお祝い品の拡充を考えている。

消費税問題

Q 消費税は低所得者に負担が重く富裕層には軽い逆進性の強い税制。市民に大きな負担となる増税について市長の見解を問う

A 消費税は財政再建の切り札として導入された。能美市にとっても社会保障財源の確保として重要な課題である。消費税は国税であり、国会で議論するものと考えている。今後も動向を注視していく。



▲地下水を守るのは市政の役割

～ 若者の意見を市政に ～



自分が市長になったら
—能美市にこんなものあったらいいな—



平成29年11月21日(火)、市議会議員18名と寺井高校3年生39名が「自分が市長になったらこんなことしたい」「能美市にこんなものがあっていいな」をテーマに意見交換を行いました。





意見交換会は、8グループに分かれて行われました。

議員が司会進行を務め、高校生が自分たちの願いや思いを付せんに書きこみ、それぞれの意見を出し合いました。

最後に、各グループ代表生徒が出された意見や提案を発表しました。



子育て支援を充実させたい。出産につき祝い金を支給してはどうか

ライブハウスやドームを作って県外からの観光客を増やしたい!

高校生らしい
アイデアが
続出しました

インスタ映えするスポットを作りたい。耕作放棄地を活用すればできると思う

能美市にはいいものがたくさんあるが知れ渡っていない。広告塔を作って広めたい

空き家を活用してシェアハウスや宿泊施設を作ったら観光面で盛り上がるのでは!

自転車での帰り道が暗い。外灯を増やせば事故も減る

プロ野球の球団を作りたい。広島「カープ女子」は地域を活性化しているイメージがある

高齢者が集える施設が増えるとよい。高齢者が元気になって医療費を削減できれば他のところに予算が使える

議長・副議長が交代しました

1月16日(火)、第1回能美市議会臨時会を開会し、正副議長の選挙などを行いました。
 正副議長の選挙の結果、第15代議長に南山修一議員、第12代副議長には田中策次郎議員が
 当選しました。
 南山議長は、「市民にわかりやすい開かれた議会運営に努めたい」と抱負を述べました。



第15代
能美市議会議長
南山 修一

第12代
能美市議会副議長
田中 策次郎

こんな活動しています

10月

- 3日 広報(議会だより55号の編集)
- 5日 議運・全協(臨時会議事日程)
本会議(議案上程、提案理由説明、採決)
- 10日 広報(議会だより55号の再編集)
視察受入(筑紫野市:定住促進等)
- 26日 視察受入(高石市:地域包括ケアシステム)
- 31日 議運(政務活動費など)
全協(感謝状の贈呈など)

11月

- 8日 視察受入(阿蘇市:糖尿病予防)
- 9日 本会議(正副議長選挙、委員会選任ほか)
- 16日 総務・産経・教福(各課報告)
広報 議会だより56号の編集ほか
- 20日 議運・全協(第4回定例会会期日程)
- 28日 議運・全協(議事日程)
本会議(開会、議案上程、提案理由説明)

12月

- 5日 議運・全協(議事日程)
本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問、質疑、委員会付託)
- 7日 予算決算常任委員会全体会
産経、予算決算産経分科会(付託案件の審査)
- 8日 総務、予算決算総務分科会(付託案件の審査)
- 11日 教福、予算決算教福分科会(付託案件の審査)
- 14日 予算決算常任委員会全体会
議運(第1回定例会会期日程他)
- 15日 議運・全協(議事日程)
本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)
広報(議会だより57号のレイアウト案)
- 27日 広報(議会だより57号の編集)

総務…総務常任委員会 全協…議会全員協議会
 産経…産業経済常任委員会 広報…広報特別委員会
 教福…教育福祉常任委員会 基地…基地対策特別委員会
 議運…議会運営委員会

平成30年

3月定例会のお知らせ

(会期:2月28日~3月23日)
 皆さまお気軽に傍聴に
 お越しく下さい

- 2月28日(水) 提案理由説明
- 3月12日(月) 代表質問・
一般質問
- 3月13日(火) 一般質問
- 3月23日(金) 委員長報告、
討論、採決

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町 1110 番地
 能美市議会事務局
 TEL(0761)58-2240 FAX(0761)58-2295
 E-mail : gikai@city.nomi.lg.jp

編集後記

10回目の開催となった“子どもマイスターウィーク”の表彰式が先日行われました。子どもたちの自由な発想、大きく広がる想像力、「やってみるんだ!」というチャレンジ精神がいかに発揮された作品に、ただただ驚かされました。

また、プロ野球新人王に輝いた京田陽太選手には、能美市スポーツ特別賞が授与されました。京田選手は、

日々練習に励むことや周囲に感謝することの大切さを子どもたちにもわかりやすく伝えてくれました。

子どもたちの可能性は無量大です。感動し、夢を思い描いて何にでも挑戦できるような、たくましい子どもたちの成長がこの能美の地に広がっていくことだろうと確信した、一年の締めくくりとなりました。

(北村周士)

広報特別委員会 委員長: 仙台 謙三 副委員長: 北村 周士 委員: 開道 昌信、田中策次郎、佐伯富美子、卯野 修三、山下 毅